

第23回 西高の夕べ プログラム

第1部 TALK.....14:00~15:30

なぜ指揮者によって音が変わる？

寺岡 清高 (西高37期)

1991年に留学以来、かれこれ四半世紀ウィーンに暮らしております。当初は、留学の目的とは現地で学校や演奏会など様々な場を通して音楽の勉強をすることだと思っておりましたが、振り返ってみますと、学校等で教わる音楽技術的なことよりも、実際に生活し、現地の人々とのやりとりを通して彼等の思考を知ることの方が、はるかに自分の演奏やリハーサル役にたっているという事実、改めて驚いてしまいます。その後仕事でヨーロッパの様々な国に行くようになると、同じヨーロッパでもお国柄の違いが、現地のオーケストラの演奏に如実に現れるものと実感しました。さらに日本での仕事が増え、また縁あってブラジルのオーケストラに客演するようになると、これは音楽の仕事というより、もはや外交なのではないかと思うようになりました。前半はそのあたりのお話を少し。続いて指揮の仕事そのもののお話を致します。

珍しい職業だからでしょうか、「指揮者はいったい何をしているの?」「指揮者が違うと何がかわるの?」とよく訊かれます。指揮者が変わると、テンポ設定や楽器間のバランスなど、曲の解釈が変わります。ですが、それ以前にオーケストラから出てくる音そのものが変わります。本日は、来年の西高創立80周年を機に今春発足した、OB/OGによる「都立西高創立80周年記念オーケストラ」と共に、実演を交えながら指揮者の仕事にまつわるあれこれを解説致します。そして最後にクラシックの中でも飛び切りの有名曲、ベートーヴェンの「運命」全曲を演奏致します。どうぞお楽しみ下さい。

大阪交響楽団常任指揮者
寺岡清高



寺岡清高氏プロフィール
早稲田大学第一文学部卒業後、桐朋学園大学、ウィーン国立音楽大学に学ぶ。2000年ミトロプーロス国際指揮者コンクール優勝。以降イタリアを中心にヨーロッパ各国のオーケストラへ客演。2004年より大阪交響楽団正指揮者、2011年より同楽団常任指揮者。杉並区立桃井第一小、井荻中卒。西高在学中は管弦楽部で部長を務める。楽器はトランペット。1991年からウィーン在住

運命

ベートーヴェン作曲:交響曲第5番ハ短調作品67

1807年から1808年にかけて完成された、ベートーヴェン中期の代表作のひとつ。日本では「運命」と呼ばれる。「ジャジャジャジャーン!」でお馴染みの冒頭のモチーフが、第1楽章だけでなく全4楽章を通じて素材として執拗に使用される、言ってみれば30分超にわたる変奏曲。ベートーヴェン自身はもちろん、後の作曲家達の交響曲作曲上に、大きな影響を与えた。

- ・ 第1楽章：上述した「ジャジャジャジャーン」動機が何回も繰り返される。数えてみるのも一興?
- ・ 第2楽章：変奏曲。冒頭主題が装いを少しずつ変えながら、最後に初めて完全な姿で現れるまでの、いわばメロディの一生を描いた、古典派というよりロマン派の曲。
- ・ 第3楽章：「ジャジャジャジャーン」主題を使った踊りの楽章。切れ目なく続く第4楽章への最弱音から最強音までの橋渡し部分の主役は、唯一の打楽器ティンパニ。
- ・ 第4楽章：歓喜の音楽。最後のコーダ(終結部)には「ジャジャジャジャーン」主題が隠れて活躍!

楽団紹介—都立西高創立80周年記念オーケストラ

西高現役の管弦楽部は、13期に設立された弦楽部が母体となり、36期以降オーケストラとして、今では活発な活動を行っています。これまで卒業生による団体がありませんでした。そこで、2017年の都立西高創立80周年をきっかけに、卒業生たちがいつでも気軽に戻ってきて集うことができる場としてOB/OGによる管弦楽団が設立されました。約1年間の準備期間を経て、本年5月に設立記念演奏会を開催。今後も卒業生が中心となった市民団体として、活動を継続していく予定です。現在の登録人数は、まだ演奏に参加していない人も含めれば約90名。本日は17期から68期までの幅広いメンバー約60名で演奏します。

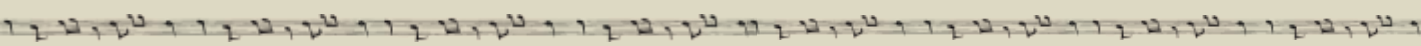
第2部 MUSIC.....15:45~16:30

ドラマチック・ブラス

都立西高 OB 吹奏楽団

楽曲紹介

1. 「ルパン三世」のテーマ 大野雄二 作曲 小山恭弘 編曲
「ルパン三世」はモンキーパンチ原作の漫画で、1967年より連載開始、1971年からアニメ化された作品です。アニメについては、映画、テレビを通じて現在に至るまで、新作が次々発表され、45年にもわたって放映されている長寿アニメです。アクションあり、ロマンスあり、笑いありの主人公ルパン三世の華やかな人間ドラマを、ブラスの華やかなサウンドでお届けします。
2. 情熱大陸 葉加瀬太郎 作曲 石毛里佳 編曲
「情熱大陸」はスポーツ、演劇、音楽、学術などあらゆる分野の第一線で活躍する人物にスポットを当てるTBSテレビ系のドキュメンタリー番組です。今や番組の代名詞となっているテーマソングは、バイオリニストの葉加瀬太郎が番組出演した際に依頼を受けて作曲しました。ドラマチックな曲調をお楽しみください。
3. 夢 -岩井直溥先生の思い出に- 真島俊夫 作曲
日本の吹奏楽ポップスに欠かせない「New Sounds in Brass」シリーズの生みの親であり、2014年に逝去した岩井直溥氏に捧げられた曲で、氏の弟子である真島俊夫氏が作曲しました。アルトサクソフーンによるどこか悲哀を含んだ甘いメロディーと華麗でありながらも味わい深い和声進行は、岩井氏が生涯かけて追いかけた「シンフォニック・ポップス」というジャンル＝「夢」を見事に体現した一曲です。作曲者の真島氏も今年4月に他界されました。岩井・真島両氏への追悼の意を込め演奏いたします。
4. 序奏とパ・ド・ドゥー チャイコフスキー 原曲 井上昭史 編曲
フランス語のパ・ド・ドゥー (Pas de deux) をそのまま英語に置き換えると、“Step of two” 「2人のステップ」となります。同性2人による踊り「デュエット」と違い、男女2人の踊り手によって展開されるパ・ド・ドゥーは、バレエの中の最大の見せ場ということが出来ます。音楽もまた、最もドラマチックに盛り上がることは言うまでもありません。本日演奏するのは、チャイコフスキー最後のバレエ「くるみ割り人形」の中で、金平糖の精と王子が踊るグラン・パ・ド・ドゥーです。同じくチャイコフスキーのバレエ「眠れる森の美女」の幕開けに奏される序奏をつけ、よりドラマチックなオープニングを持つ吹奏楽曲に仕立ててみました。単純な「下行音階」を繰り返していく中で、どんなドラマが展開されていくか、お楽しみいただけましたら幸いです。
5. カーペンターズ・フォーエバー R・カーペンター他 作曲 真島俊夫 編曲
カーペンターズはアメリカの兄妹ポップス・デュオ。兄リチャードと妹カレンの息のあったハーモニーで1970年代に人気を集めました。人気絶頂だった1983年のカレンの急死と共に、カーペンターズの活動も幕を閉じました。今回は彼らの名曲ばかりを集めたメドレーをお送りします。
曲目：シング～愛のプレリュード～トップ・オブ・ザ・ワールド～遥かなる影～スーパースター～ふたりの誓い



楽団紹介—都立西高 OB 吹奏楽団

私たちが都立西高 OB 吹奏楽団は、西高吹奏楽部での活動をきっかけに、20期から68期までの年齢も職業も異なる多彩なメンバーが集まり、現在は38回を迎えた演奏会のほか、この「西高の夕べ」での演奏や現役生との交流イベントなど、年間を通じて幅広く活動しております。本日は「ドラマチック・ブラス」をテーマにクラシックからポップスまでの幅広い曲目を通して、吹奏楽の魅力をお届けしたいと思っています。どうぞ最後までお楽しみください。



ごあいさつ

本日はご多用のところ「西高の夕べ」においでいただき誠にありがとうございます。西高会の地域・社会貢献活動の一環として、「西高の夕べ」第1部は様々な分野で活躍している西高卒業生の講演をお届けします。今回はクラシック音楽の世界から、ウィーン在住の指揮者・寺岡清高さんです。音楽に見るお国柄の違い、また、来年の西高創立80周年を機に結成されたOGOBオーケストラも参加、指揮者によって音楽がどう変わるのか、話しとともに実演します。第2部は恒例OB吹奏楽団が、「ドラマチック・ブラス」をテーマに軽快なサウンドを響かせます。どうぞお楽しみください。

一般財団法人西高会

東京都立西高等学校は、1937(昭和12)年に東京府立第十中学校として開校。今年で創立79周年を迎えました。「西高会」は同校の教育活動を支援することを主目的に1959(昭和34)年に学校、PTAと同窓会を母体とした財団法人として設立されました。公益法人改革にともない、2012(平成24)年4月に一般財団法人として東京都に認可されています。西高会は、西高の隣接地に鉄筋コンクリート3階建の「西高会館」を保有し、これを維持・管理することを最大の目的としています。この建物・施設は西高関係者のみならず、地域の皆様のご利用に供しています。また教育活動支援の他に、講演会・演奏会活動の一つとして、「西高の夕べ」などを主催しています。活動資金は、西高在校生の保護者が大部分を拠出しています。同窓会も一部負担しています。一般財団法人西高会の活動に、ご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

西高の夕べこれまで

第1回1995年1月28日(土)セッション杉並
お話し相川 浩、芳村 真理
演奏都立西高 OB 吹奏楽団

第2回1995年12月2日(土)杉並公会堂
お話し辻井 喬(堤 清二)
演奏西高OB管弦楽団、都立西高OB吹奏楽団
司会芳村 真理

第3回1996年10月13日(日)杉並公会堂
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第4回1997年12月6日(土)杉並公会堂
お話し阿刀田 高
朗読阿刀田 慶子
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第5回1998年11月29日(日)セッション杉並
お話し藤原 正彦
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第6回1999年11月23日(日)杉並公会堂
お話し加藤 諦三
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第7回2000年11月9日(日)杉並公会堂
お話し秋山 駿
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第8回2001年11月18日(日)杉並公会堂
お話し村崎 芙蓉子
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第9回2002年12月1日(日)杉並公会堂
お話し玉村 豊男
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第10回2003年11月30日(日)杉並公会堂
お話し黒井 千次
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第11回2004年11月28日(日)セッション杉並
お話し喜早 哲
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

一般財団法人「西高会」理事長
都立西高等学校同窓会会長 **小林 周一**

第12回2005年12月11日(日)セッション杉並
お話し榎本 勝起
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第13回2006年11月26日(日)杉並公会堂
お話し黒田 恭一
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第14回2007年12月23日(日)杉並公会堂
お話し鎌田 實
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第15回2008年11月24日(月・祝)杉並公会堂
お話しいわむら かずお
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第16回2009年11月29日(日)杉並公会堂
お話し金田一 秀穂
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会芳村 真理

第17回2010年11月28日(日)杉並公会堂
お話し池田 香代子
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会鷹尾 あや

第18回2011年11月27日(日)杉並公会堂
お話し大中 恩 ソプラノ・北原 聖子
ピアノ・宮下 俊也
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司会鷹尾 あや

第19回2012年11月5日(月)杉並公会堂
お話し眞鍋 圭子
演奏都立西高 OB 吹奏楽団
司會長田 恭子

第20回2013年11月24日(日)杉並公会堂
お話し小倉 純二
演奏都立西高 OB 吹奏楽団

第21回2014年11月24日(月・休)杉並公会堂
お話し高橋 進
演奏都立西高 OB 吹奏楽団

第22回2015年11月23日(月・祝)杉並公会堂
お話し高原 明生
演奏都立西高 OB 吹奏楽団

第23回 TALK& MUSIC



西高の夕べ

第1部 寺岡 清高 (西高37期) TALK

大阪交響楽団常任指揮者

なぜ指揮者によって音が変わる？

(客演：都立西高創立80周年記念オーケストラ)

第2部 都立西高 OB 吹奏楽団 MUSIC ドラマチック・ブラス

2016年 **11月27日** (日)

開場PM1:30 開演PM2:00

終了予定PM4:30

杉並公会堂 大ホール

主催●一般財団法人西高会

後援●杉並区教育委員会

都立西高等学校同窓会



